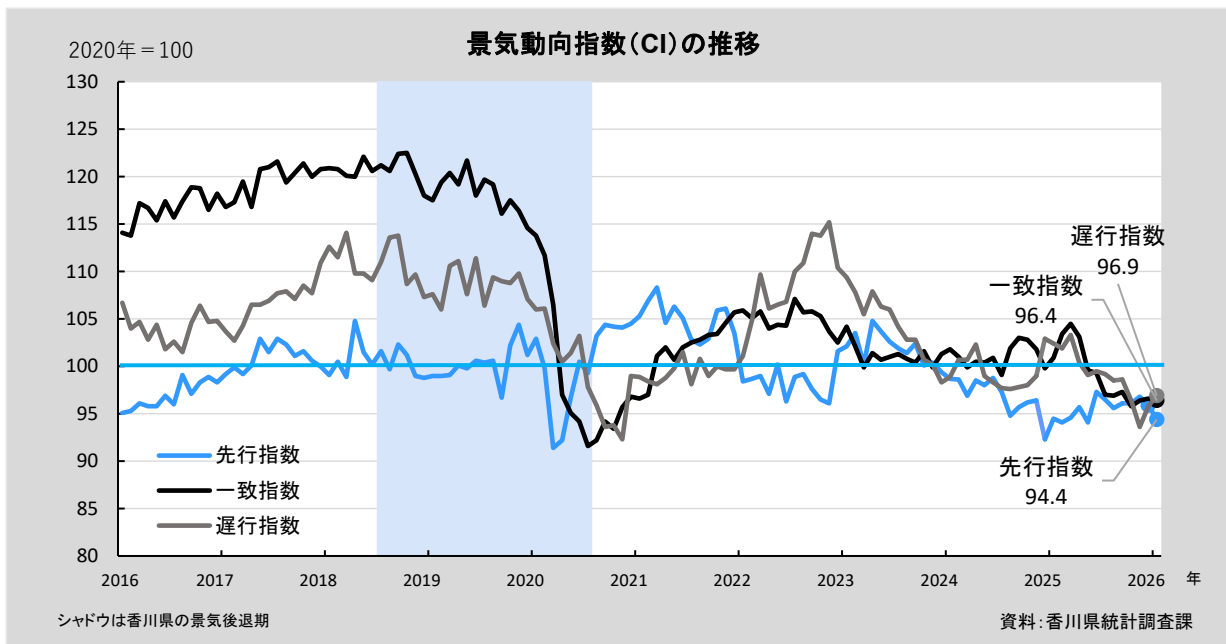


| | |
|------|------------------|
| 概況 | 持ち直している。 |
| 個人消費 | 緩やかな増加基調にある。 |
| 住宅投資 | 低調に推移している。 |
| 公共投資 | 持ち直しの動きがみられる。 |
| 生産活動 | 横ばい圏内の動きとなっている。 |
| 雇用情勢 | 持ち直しの動きに弱さがみられる。 |
| 貿易 | 輸出、輸入ともに増加している。 |
| 観光 | 持ち直しの動きが続いている。 |

景気動向指数(かがわCI) 一致指数 3カ月ぶり下降



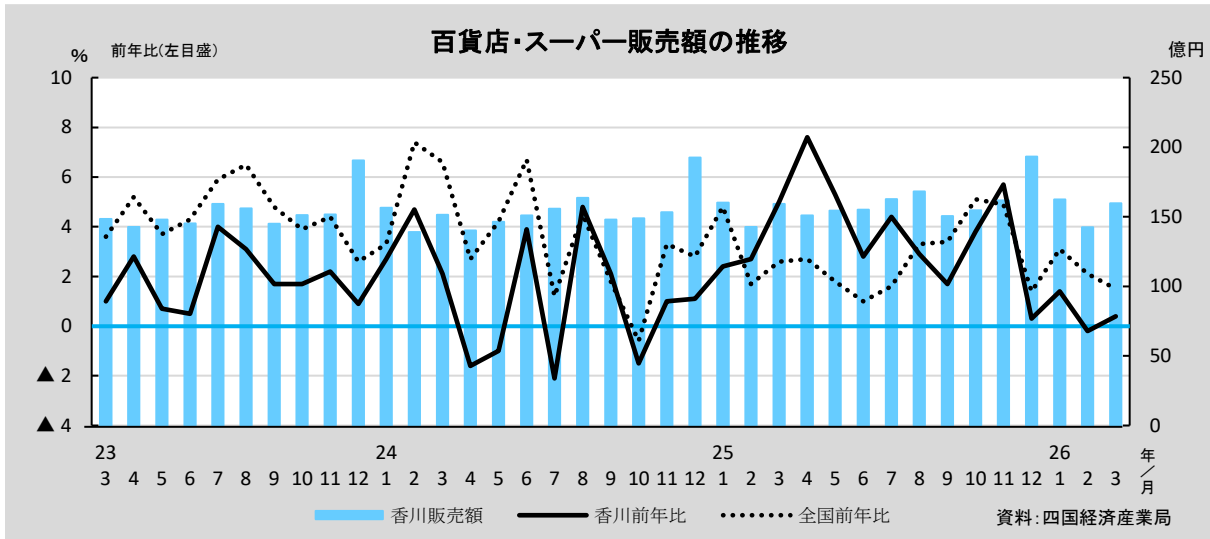
景気の現状をみると、2月のCI一致指数は96.4（前月比▲0.2ポイント）と3カ月ぶりに下降。CI先行指数は94.4（同▲1.5ポイント）と2カ月連続で下降。CI遅行指数は96.9（同+1.1ポイント）と2カ月連続で上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、有効求人倍率、鉱工業出荷指数等がマイナスに寄与し、3カ月ぶりに下降となった。

| | 先行系列 | 寄与度 | 一致系列 | 寄与度 | 遅行系列 | 寄与度 |
|----------------|-------------|--------|------------------|--------|-------------|--------|
| 採用 景気 指標 | 1 新規求人数 | ▲ 2.08 | 1 雇用保険受給者実人員 | ▲ 0.01 | 1 常用雇用指数 | ▲ 0.70 |
| | 2 乗用車新車登録台数 | | 2 有効求人倍率 | ▲ 0.56 | 2 有効求職者数 | 1.08 |
| | 3 鉱工業在庫率指数 | ▲ 0.95 | 3 所定外労働時間指数 | 0.67 | 3 消費者物価指数 | ▲ 1.00 |
| | 4 新設住宅着工戸数 | 0.53 | 4 鉱工業生産指数 | 0.06 | 4 家計消費支出 | 0.89 |
| | 5 金融機関貸出残高 | ▲ 0.01 | 5 鉱工業出荷指数 | ▲ 0.19 | 5 鉱工業在庫指数 | 0.67 |
| | 6 消費者態度指数 | 1.07 | 6 建築着工床面積 | ▲ 0.08 | 6 法人事業税調定額 | 0.31 |
| | | | 7 百貨店・スーパー既存店販売額 | ▲ 0.09 | 7 第3次産業活動指数 | ▲ 0.13 |

●百貨店・スーパー販売額

2カ月ぶり増加 ↑

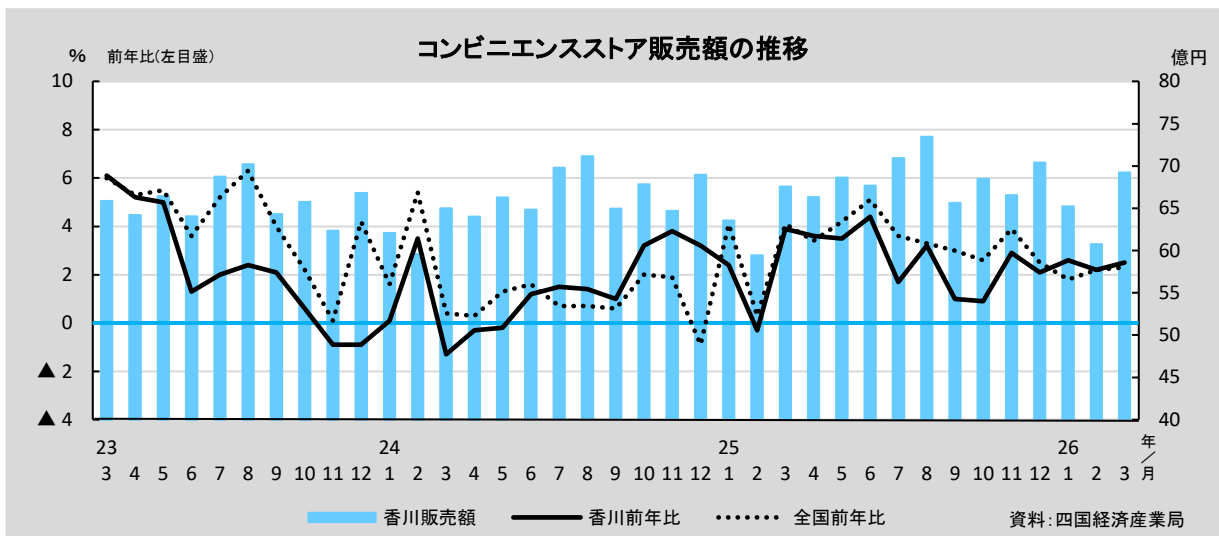


| 2026/3月 | 衣料品 | 身の回り品 | 飲食料品 | 家具 | 家庭用 電気機械器具 | 家庭用品 | その他の商品 | 食堂・喫茶 | 合計 |
|----------|-------|-------|--------|------|---------------|------|--------|-------|--------|
| 販売額(百万円) | 1,011 | 651 | 11,726 | 24 | 69 | 746 | 1,741 | 5 | 15,974 |
| 前年同月比(%) | ▲4.9 | ▲5.0 | ▲1.1 | 37.5 | 59.2 | 6.1 | 12.9 | 11.1 | 0.4 |

3月の百貨店・スーパー全店(90店)の販売額は159.7億円で、前年同月比+0.4%と2カ月ぶりに増加した。「その他の商品」は高級時計や美術品などの高額品や化粧品、洗剤などの日用消耗品が好調だったことなどから同+12.9%と前年を上回った。一方、「衣料品」は紳士服が低調で同▲4.9%、「飲食料品」は生鮮野菜の低調や米の価格高騰反動減などから同▲1.1%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

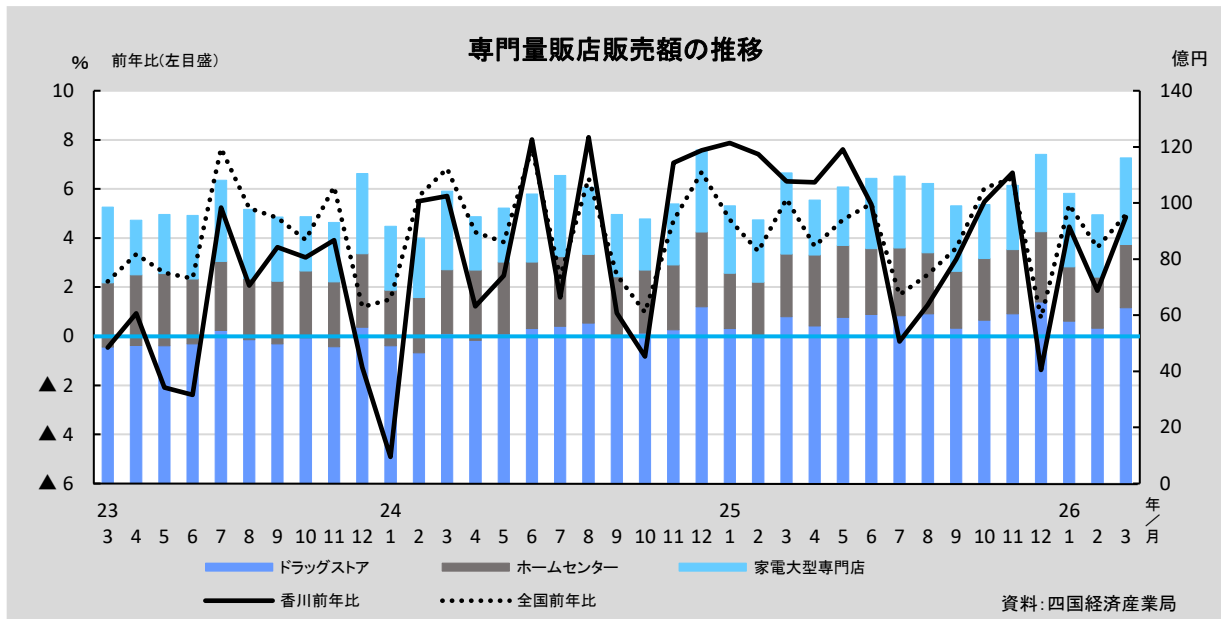
13カ月連続増加 ↑



3月のコンビニエンスストア全店(408店)の販売額は69.2億円で、前年同月比+2.5%となり、13カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

3 カ月連続増加

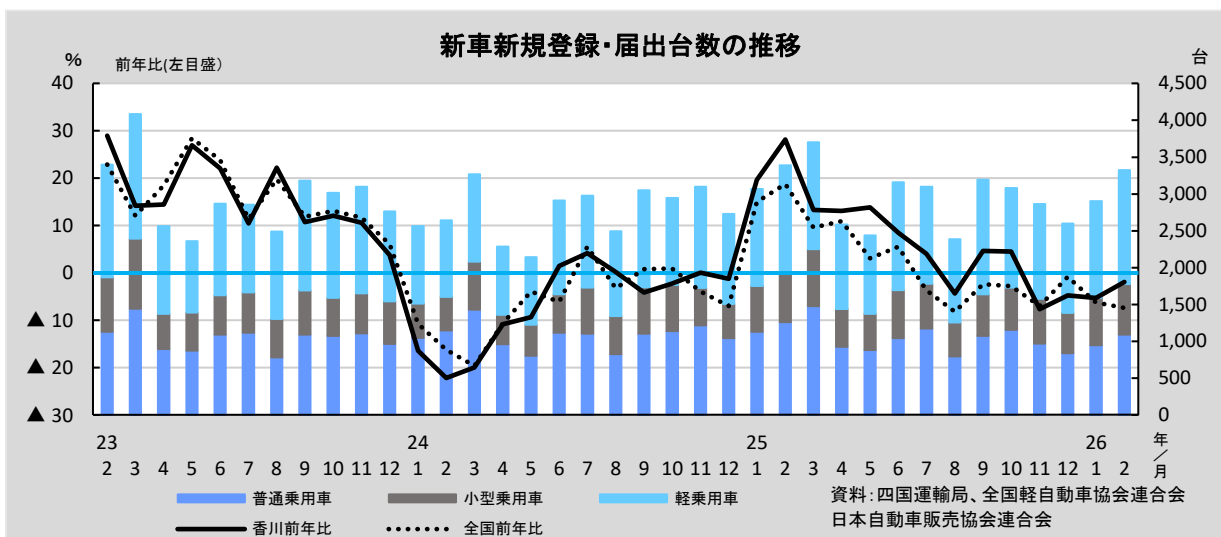


3月の専門量販店全店（241店）の販売額116.1億円で、前年同月比+4.8%と3カ月連続で増加した。

業態別にみると、家電大型専門店（27店）の販売額は31.0億円で前年同月比+6.9%となった。ドラッグストア（168店）の販売額は、62.7億円で同+5.5%となった。ホームセンター（46店）の販売額は、22.5億円で同+0.6%となった。

●新車新規登録・届出台数

4 カ月連続減少



2月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,324台で、前年同月比▲1.9%と4カ月連続で減少した。

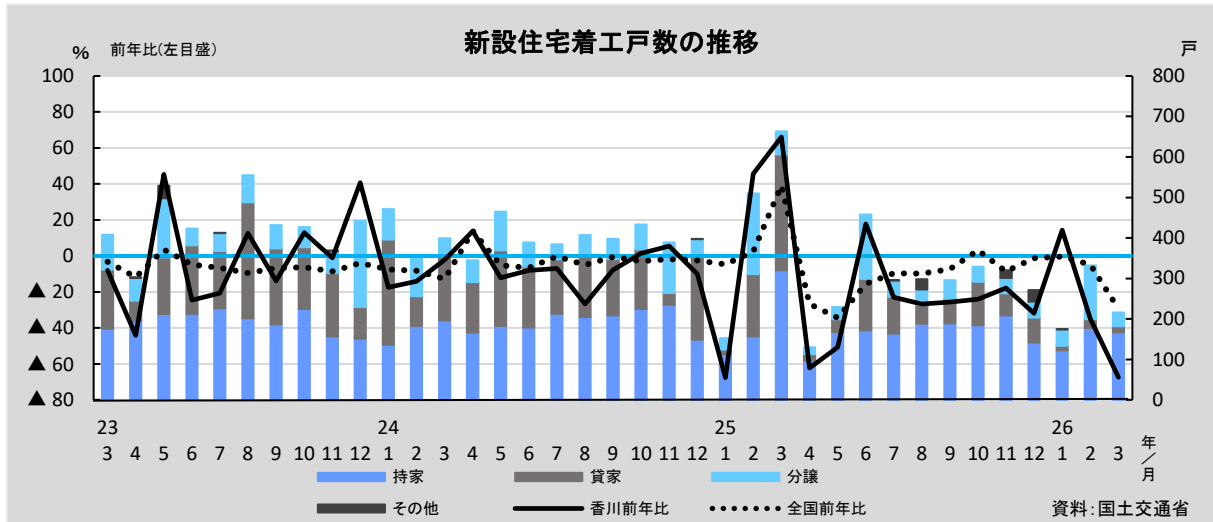
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲13.6%、小型乗用車は同+2.4%、軽乗用車は同+6.3%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2 カ月連続減少 ↓



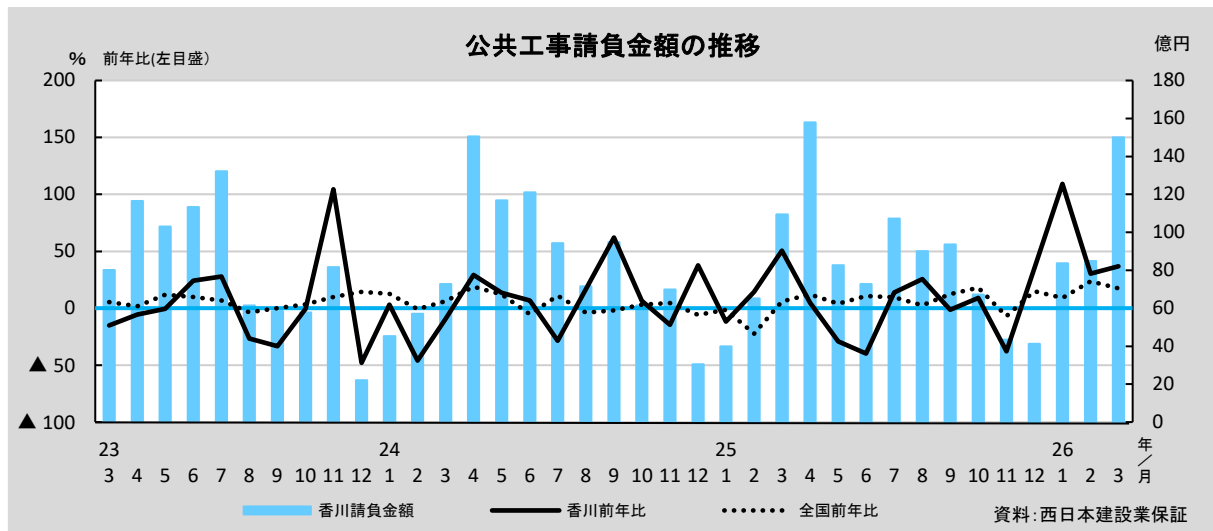
3月の新設住宅着工戸数は216戸で、前年同月比▲67.4%と2か月連続で減少しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲47.8%、**貸家**で同▲94.8%、**分譲住宅**で同▲40.4%となった。

公共投資

持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

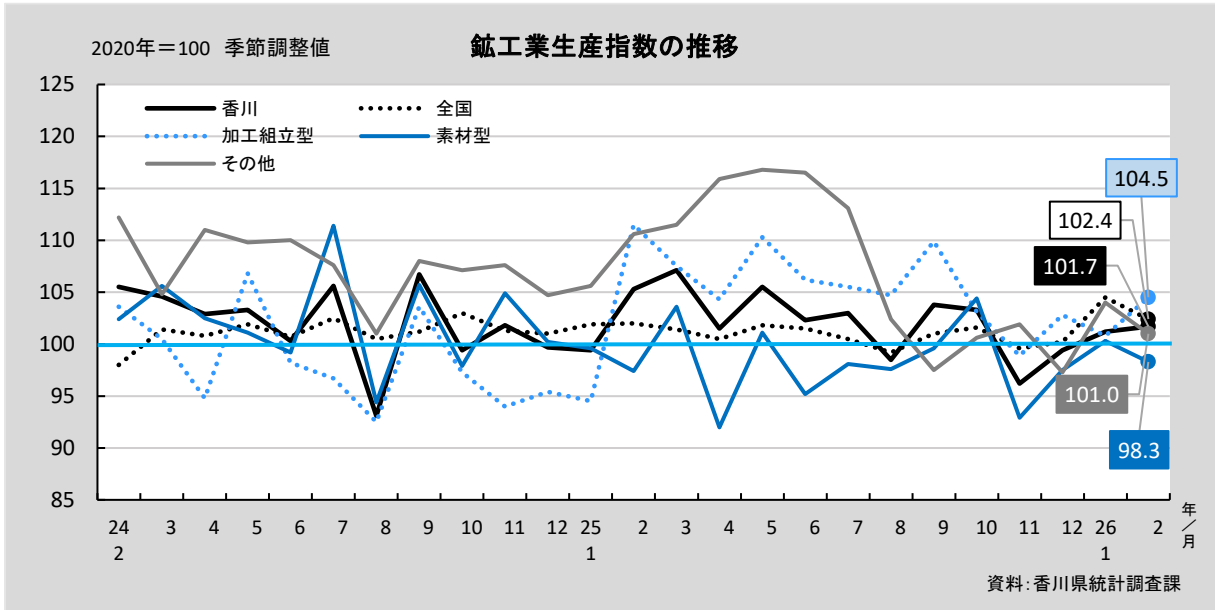
4 カ月連続増加 ↑



3月の公共工事請負金額は150.0億円で、前年同月比+36.9%と4か月連続で増加しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+184.0%、**県**で同▲12.3%、**市町**で同+55.2%となった。2025年度（2025.4月～2026.3月）の累計では前年同期比+4.8%と増加している。

● 鉱工業生産指数

3 カ月連続上昇 ↑

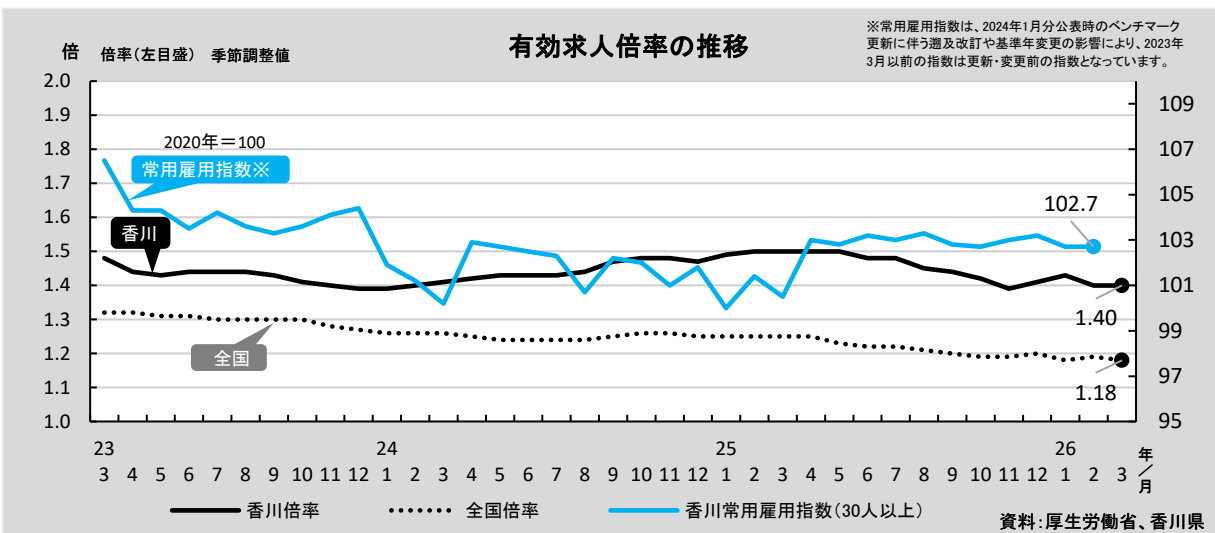


2月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は101.7（前月101.2）となり、3カ月連続で上昇した。

業種別では、加工組立型の電気機械工業（開閉制御装置など）は前月比+11.8%、素材型のプラスチック製品工業（フィルム・シートなど）は同+7.4%と上昇した。一方、素材型の金属製品工業（鋼管：ベンディングロールなど）は同▲9.9%と低下した。

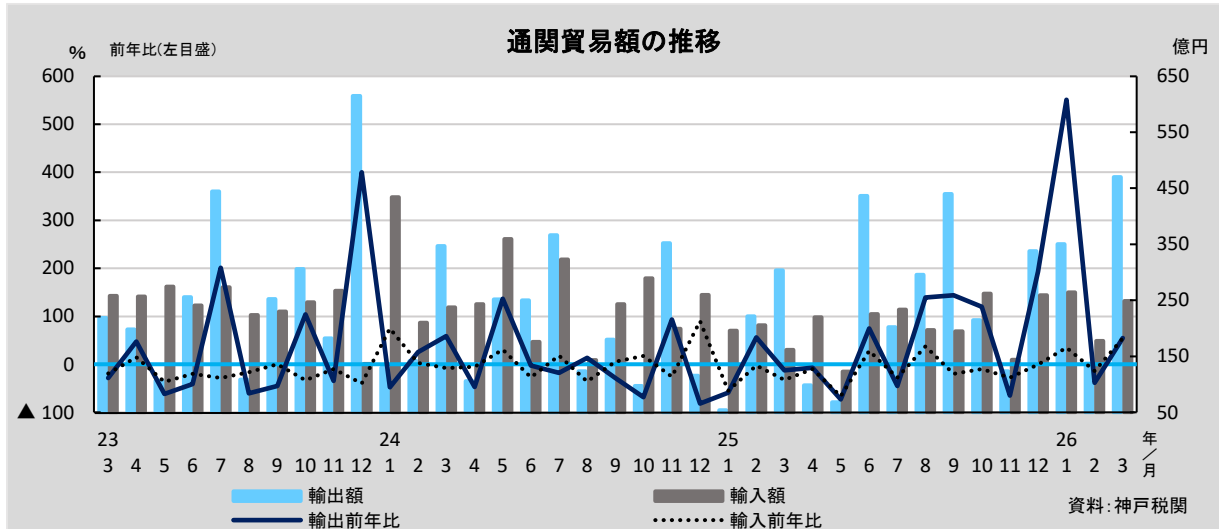
● 有効求人倍率

前月と同水準 →



貿易

輸出、輸入ともに増加している

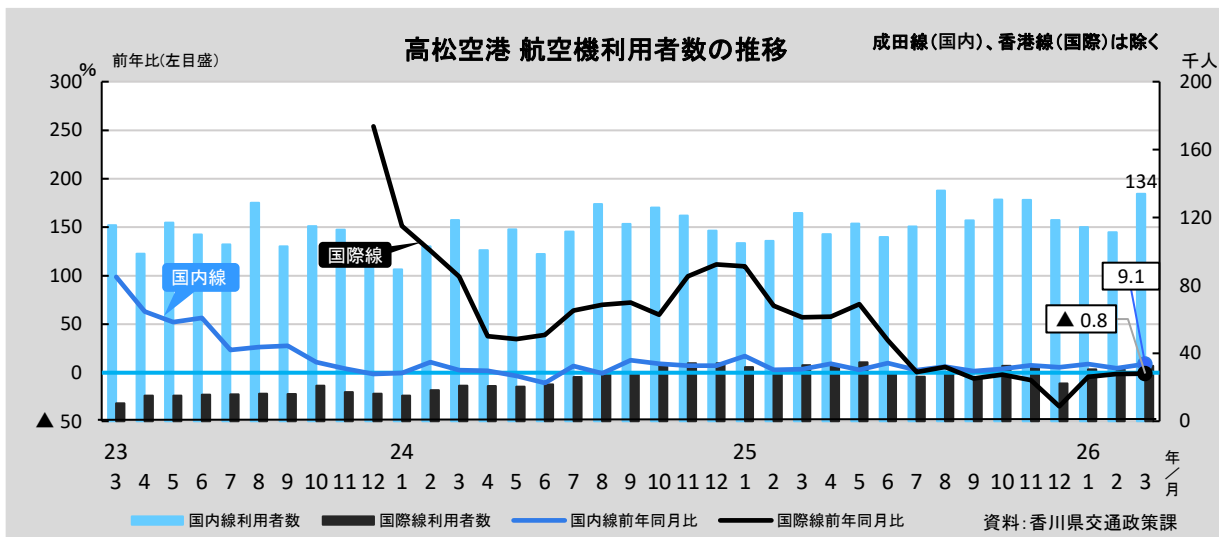


3月の輸出額は前年同月比+54.7%の469.8億円、輸入額は同+53.9%の248.6億円となり、差し引き221.2億円の出超となった。輸出は貨物船輸出額が前年同月比+72.5%の407億円となり増加に寄与した。輸入は液化石油ガス輸入額が前年同月比4.7倍の52億円となり増加に寄与した。

交通

国内線は19カ月連続増加、国際線は7カ月連続減少

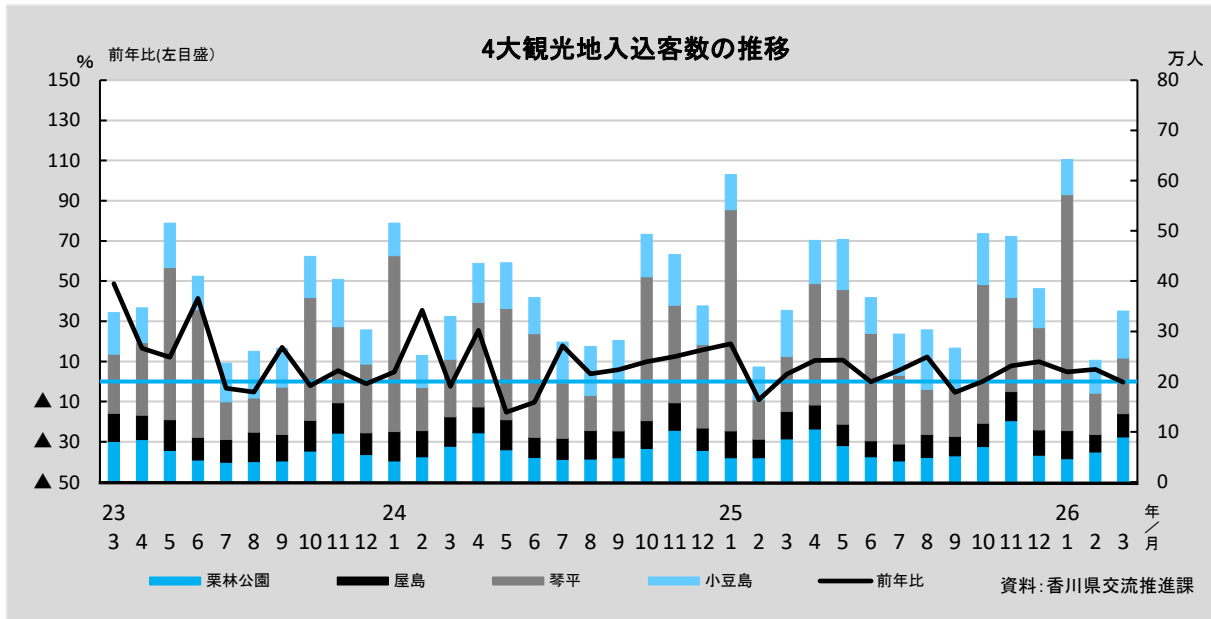
●高松空港旅客輸送実績



3月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が133,927人（前年同月比+9.1%）となり、19カ月連続で増加した。羽田線は124,881人（同+11.5%）、那覇線は9,046人（同▲15.6%）となった。

国際線は、ソウル線22,455人（同+5.7%）、台北線10,289人（同+63.8%）と増加したが、上海線が運休のため合計32,744人（同▲0.8%）と7カ月連続で減少した。

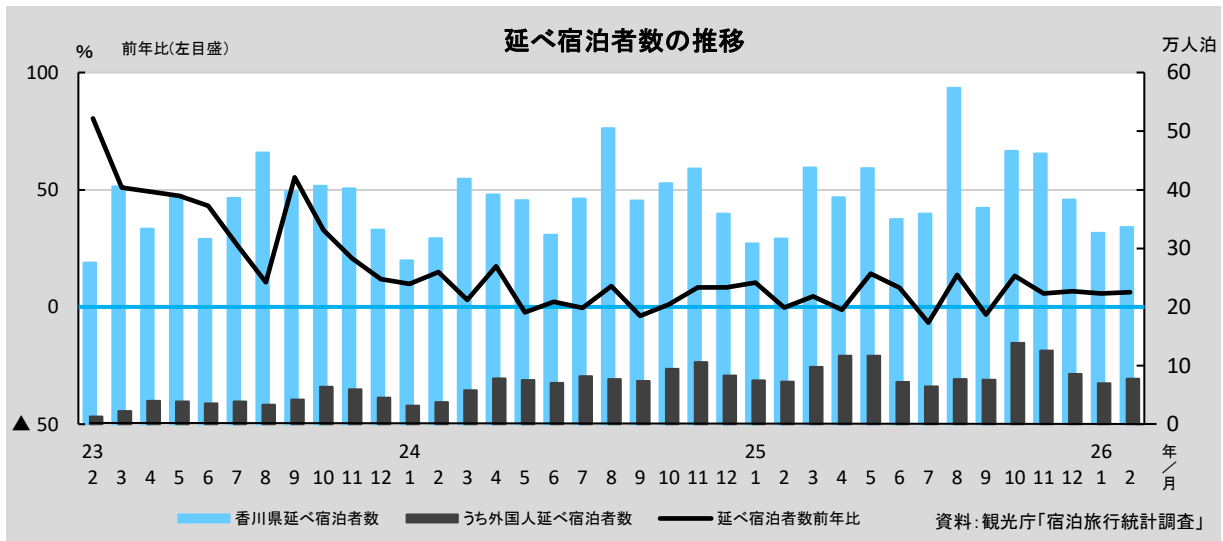
●主要観光地入込客数



| 観光地入込客数 | | 栗林公園 | 屋島 | 琴平 | 小豆島 | 合計 |
|-----------|-------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 3月(人) | 前年同月比 | 89,480 | 46,687 | 111,000 | 93,158 | 340,325 |
| | | 4.6% | ▲14.7% | 0.9% | 2.1% | ▲0.4% |
| 1~3月累計(人) | 前年同月比 | 195,791 | 137,564 | 663,000 | 228,615 | 1,224,970 |
| | | 7.5% | ▲5.5% | 5.6% | 0.5% | 3.5% |

3月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲0.4%と6カ月ぶりに減少した。栗林公園は前年同月比+4.6%、琴平は同+0.9%、小豆島は同+2.1%と増加したものの、屋島は同▲14.7%と減少した。1~3月の累計では前年同期比+3.5%と増加している。

●延べ宿泊者数



2月の延べ宿泊者数336,620人泊で、前年同月比+6.3%と5カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は77,550人泊となり、前年同月比+7.0%と2カ月ぶりに増加した。